

朝来市の建築
中山

安心安全の住環境提供

中古住宅の「性能向上リフォーム」展開へ

朝来市立協の木造建築業、(有)中山建築(中山弘樹社長)は、中古住宅に耐震補強などを施した「性能向上リフォーム」に特化した事業に力を入れる。中古住宅の価値を上げるとともに、より安心・安全な住環境サービスを提供するのが狙い。年内からの本格展開を目指しており、同時に不動産部門も立ち上げる計画だ。

不動産部門も年内立ち上げ

景気低迷や少子高齢化は全国的に減少傾向。住宅の需要が高まって化で新築住宅の着工件数があるが、安価な中古に目を着目した。



圧迫感がない耐震用壁が施された性能向上リフォームの一例

耐震診断士や宅地建物取引主任者などの資格を有し、設計・施工といたつたすべてを自社で

一括管理できる強みを生かす。昨年末に県から経営革新計画の承認を得た。

リフォームは耐震や構造診断などを行い、再利用できる資材は活用し、補強しながらコストで中古住宅を再生する。但馬地区は和風住宅が約70%を占めるが、モダンな空間にも仕上げ、若い世帯のニーズに合った低

価格需要に応える。このことでも市内の空き家(1月現在で370軒)解消にもつなげる狙いだ。

年内に立ち上げる不動産部門では、京阪神からの需要も取り込みたい考え。施工後の住宅には、工事の内容な

ことを示した「住宅カルテ」を発行。物件売却の際も自社で対応する。今後、リフォーム事業の売り上げは全体の8割に引き上げたいとしている。(同社は079・678・0406) [森川]

若い世帯の低価格需要にも対応